

Hi, friends 2 Lesson 3 第4時

6 本時の学習 (4/4)

(1)本時のねらい：自分ができると、できないことを積極的に紹介しようとする。

(児童のめあて… 例：自分のことを友達と伝え合おう！)

(2)評価規準 ○積極的に友達にできることを尋ねたり自分のできることを答えようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

○自分のできると、できないことを相手に伝えようとしている。

(3)展開

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

過程	児童の活動	学級担任 (T1) の活動	・ 指導上の留意点 ☆準備物 (コ)(慣)(気) 評価規準 < > 評価方法 ◆ 他教科との関連
挨拶	○始めの挨拶 “Let’s start !”	“Let’s start !”	
導入	OP.12【Let’s Chant】 Can you swim? ・リズムに合わせて、「～できる？」 と言う表現に慣れる。	・デジタル教材を聞かせる。	
展開	○本日のめあてを知る。 OP.12 【Activity 2】 友だちにインタビューして、 サインをもらおう。 ・誌面を持って教室内を歩き回り、 出会った友達に Can you ~ ?と 質問する。 ・Yes, I can. と答えた友達にサイン をもらう。 ・いくつサインをもらえたか英語で 数える。 OP.13 【Activity 3】 自分を紹介しよう。 ・グループになり、前時に描いたワ ークシートを使って、自分ができ ることを紹介する。 ・代表児童はみんなの前で発表す る。	○本日のめあてを伝える。 ・活動の説明をする。 ・出会った時には“Hello!”、別れると きは“Good bye”などのあいさ つをするよう伝える。 ・“No, I can’t.”と答えた友達には “You can ~ .”と相手ができるこ とを言ってから別れるよう伝え る。 ・いくつサインをもらえたか 確認する。 ・発表の仕方をお手本を示す。 ・ジェスチャーを使って、相手に分 かりやすく伝えるように言う。 ・代表児童がみんなの前で発表す ることを伝える。 ・グループの様子を見てまわる。	(コ)積極的に友達にできることを尋ねたり 自分のできることを答えようとしている。 < 行 動 観 察 > ・“You can ~ .” の “~” の部分は日本語 でもいいので相手を認める発言ができる ようにする。 ☆教材⑤ 自分を紹介しよう(前時に作成) * 前時に集めていれば配付する。 (コ)自分のできると、できないことを相手に 伝えようとしている。 < 行 動 観 察 >
挨拶	○ふり返しカードに記入し、発表。 ○終わりの挨拶 “Let’s finish !”	○ふり返しカードを配付。 何人かに発表させ、回収する。 “Let’s finish !”	☆ふり返しカード